

自治体の課題、現状

町全体の出生数が年間20人台と急激に減少し、令和11年度には町の基幹校すべての学年で通常学級が1学級になる見込みである。生徒数の減少は教員数の減にもつながり、部活動の選択肢や活動が制限されるなど、子供達の放課後活動にも大きく影響を及ぼすことが考えられる。

本町では令和5年度より文化庁活動の地域移行実証事業に取り組み、学校、保護者、地域の理解促進と指導者の確保、活動体制の仕組みづくりを検討しながら課題の整理を行ってきた。今後は指導者の確保と持続可能な地域クラブ運営についての検討が必要である。

地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	2校	全生徒数	165人
域内の部活動数	2部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	9人	全体の運営スタッフ数	1人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ		
主な種目	吹奏楽		
平均的な活動回数	2回/月	年間平均参加生徒実数	3年：10人/クラブ 2年：3人/クラブ 1年：11人/クラブ
参加会費	なし	主な活動場所	小国中学校

地域移行関連の取組、成果

音楽団体の活動が充実していることから、指導者の量を確保して実施することができたことは評価できる。

クラブ活動運営費相当分を町単独費で上乗せし、各家庭の負担を出来る限り減らしたことにより、部員全てが地域クラブ活動に参加したことは評価できる。

行政の役割分担として通常の休日部活動同様スクールバスを運行したことにより、保護者の送迎負担を軽減することができたことは評価できる。

運営体制図

